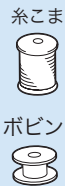
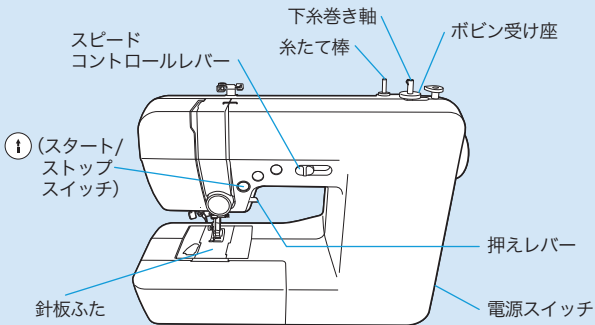


まず 下糸の準備

操作する箇所の名称は下図で確認してください。



サイズの違う
ボビンは故障の
原因となります

11.5
mm

ボビンを正しくセットしないと、針折れや糸
調子不良の原因となります。

かんたん操作ガイド

CPN11/31/51シリーズ

最初に取扱説明書の「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。詳しい手順については、取扱説明書を参照してください。

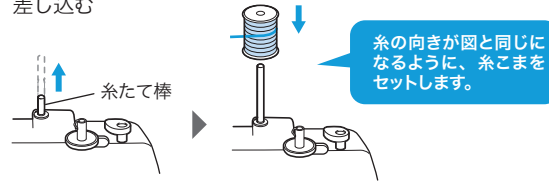
このガイドは、すぐに見られるように保管してください。

「下糸の巻き方/
準備」を動画で
チェック

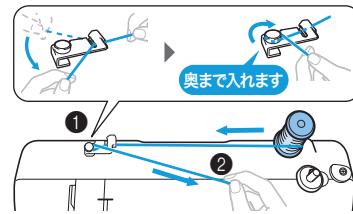
<http://s.brother/cvkkf/>



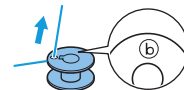
- 糸たて棒を最後まで引き出し、下糸用の糸こまを糸たて棒に差し込む



- 糸を引き出し、番号①、②の順に糸をかける



- ボビンの⑥マークがある側を上に向け、ボビンの穴に糸を通します



- ボビンのミゾと下糸巻き軸パネの位置を合わせてセットし、カチッと音がするまで右側に押す

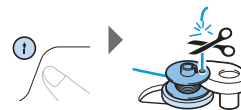


- 電源を「入」にする

- 糸の端をつかんだまま、①(スタート/ストップスイッチ)を押してミシンをスタートさせ、糸をボビンに5～6回巻き付ける



- ①を押してミシンを止め、ボビンの穴から出ている糸を約1 cm 残して切る



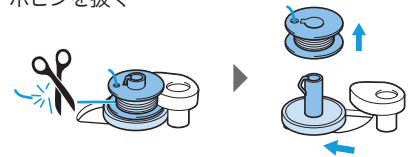
- 下糸を巻く速度を調整する



- ①を押して下糸巻きを始める

- 糸巻きが終わり、回転が遅くなったら①を押して止める

- 糸を切り、下糸巻き軸をカチッと音がするまで左へ戻し、ボビンを抜く



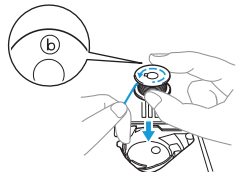
- 電源を「切」にする

- スピードコントロールレバーをもとに戻す

- 針板ふたを手前に引いて外す



- ボビンの⑥マークがある側を上に向け、糸が左巻きになるようにしてボビンをかまに入れる



- 糸をツメにかけてミゾにそわせながら引っぱり、最後にカッターで切る



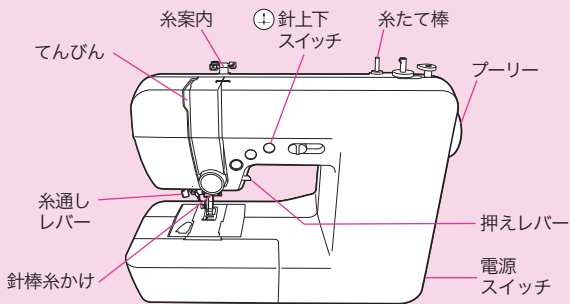
- 針板ふたをもとに戻す



次に 上糸の準備 裏面へ

次に 上糸の準備

操作する箇所の名称は下図で確認してください。



上糸を正しく通していないと、針折れや縫製不良の原因となります。

かんたん操作ガイド

CPN11/31/51シリーズ

最初に取扱説明書の「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。詳しい手順が取扱説明書に記載されています。このガイドと合わせて必ずお読みください。このガイドは、すぐ見られるよう保管してください。

「上糸の通し方/準備」を動画でチェック

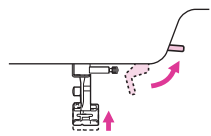
<http://s.brother/cvkke/>



1. 電源を「切」にする

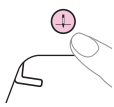
2. 押えレバーを上げる

押えレバーが下がったままでは糸が正しくかかりません



3. 電源を「入」にする

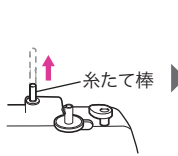
4. (針上下スイッチ)を1回または2回押して、針を上げる



針上下スイッチで針を上げないと糸が正しくかかりません

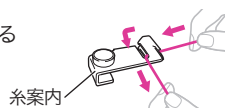
5. 電源を「切」にする

6. 糸たて棒を最後まで引き出し、上糸用の糸こまを糸たて棒に差し込む

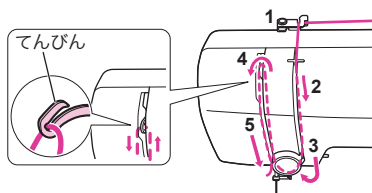


糸が後ろから正面に出るようにセットします

7. 糸を糸案内の奥から手前へかける

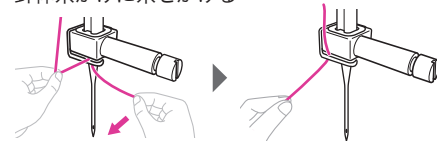


8. ミゾにそって糸を通し、てんびんにしっかり糸をかける



ミシン本体に示されている番号順に通します

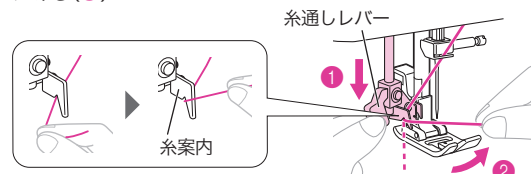
9. 針棒系かけに糸をかける



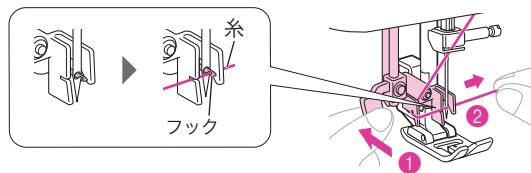
10. 押えレバーを下げる

押えレバーが上がったままでは糸通し装置でうまく糸が通りません

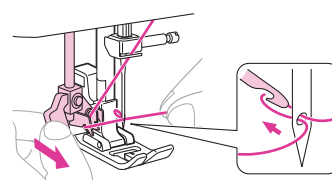
11. 糸通しレバーを下げながら (1) で糸通しの糸案内に糸を引かける (2)



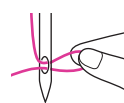
12. 糸通しレバーを後ろにいっぱいまで押し (1)、針穴から飛び出したフックに糸を引っかける (2)



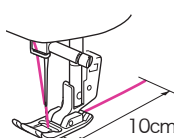
13. 糸を軽く持ったまま、糸通しレバーを手前に戻し、ゆっくり上に戻す



14. 押えレバーを上げ、糸の輪を後ろ側へ引き、針穴から糸の端を引き出す



15. 糸を後ろへ10 cm ほど引き出す



下糸を引き上げなくてもOK!
これでぬい始められます!